

# 貧困研究会

## 第29回定例研究会 のおしらせ

## 若手・院生研究会

「貧困研究会」（日本学術会議協力学術研究団体）は、さまざまな領域における貧困に関する調査・研究を行い、その成果を公開するとともに、国内外の研究者相互の交流と協力の促進を行うことを目的として、2007年12月に設立した学会です。

代表 布川 日佐史（法政大学）

副代表 五石 敬路（大阪市立大学）

第29回定例研究会では、若手・院生研究会を企画し、修士課程の三村さん、博士課程を卒業された三宅さんに、研究報告をしていただきます。これからの貧困研究の未来を担う若手・院生の研究者の研究発表と討議を通して、貧困研究のさらなる飛躍にしたいと願っております。若手・院生の方はもちろん、関心のある多くの方の参加をお待ちしています。

なお、時間的余裕がございますので、もし発表をご希望される若手研究者・院生の方がいらっしゃいましたら、ぜひご連絡ください。

研究担当：後藤・北川・木下

日 時 **2018年5月12日(土)**

14:30~17:30（受付開始14:00~）

報告者(1) 三村祐介さん（日本大学大学院M2）

「ホームレス状態におけるハウジングファーストアプローチの効果と有用性」

報告者(2) 三宅雄大さん（首都大学東京・客員研究員）

「生活保護利用世帯における大学等『就学機会』に関する研究」

会場 立教大学池袋キャンパス

17号館 第2会議室（池袋駅から徒歩約8分）

※参加される方は、事前に木下までご連絡いただくと助かります。

木下武徳（立教大学）：t-kinoshita@rikkyo.ac.jp

貧困研究会

E-mail : admin(at)hinkonken.org HP : <http://hinkonken.org/>